

村の出来事

村内の出来事、話題をお届けします

5 | 14・22

資源の再利用に貢献



千歳子ども会、青空子ども会、トナム子ども会による廃品回収が行われました。子どもたちは町内の各戸を訪ねて、古新聞、古雑誌などの回収に汗を流していました。集められた廃品は合わせて15トン以上にもなり参加した子どもたちは資源の再利用に貢献していました。

5 | 24

楽しく勉強してくださいね



富良野地方法人会占冠支部会（熊崎栄会長）から占冠中学校に「e 黒板アシスタント（電子黒板用ソフト）」が贈呈されました。平川和彦生徒会長は「ありがとうございます。大切に使用させていただきます」とお礼を述べていました。

5 | 29

採りたての新鮮山菜はいかが？



占冠の味覚を提供する「しむかつぶ村民山菜市」が道の駅で開かれました。村内の山菜を使った多彩な料理を観光客に提供し、会場はにぎわっていました。天候もよく多くの観光客が足を止め山菜づくしの料理を堪能していました。

委員会の報告

国民健康保険運営協議会

5月31日、国民健康保険運営協議会が開催されました。国民健康保険事業の平成22年度実績見込みの確認をし、国民健康保険税率の改正と平成23年度の税率の算定に向けて話し合いがされました。

次世代育成支援行動計画策定委員会

6月13日、次世代育成支援行動計画策定委員会が開催されました。占冠村次世代育成支援後期行動計画に係る平成22年度の実施状況を議題とし話し合いをしました。



地域総合交流の協定を結びました

6 | 6



6月6日、占冠村と酪農学園大学との地域総合交流に関する協定書の調印式が行われました。

近年増加しているエゾ鹿被害の対策などについて、互いに協力して問題の解決を図っていきます。この協定の有効期間は、調印の日から3年間としています。

【協定の内容】

酪農学園大学は、占冠村の自然環境の保全ならびに産業・文化・生活・観光・教育等の振興と発展に協力する。

占冠村は、酪農学園大学の教育・研究の振興と発展に協力する。

具体的な協力内容、費用負担等については、別途協議するものとす

絶対にあきらめない人たちだったよ

6 | 7



宮古市で被災地救援業務を行ってきた社会福祉協議会の満永さんが、占冠中学校で全校道徳の授業時間を利用し、現地での仕事や被災地の様子を写真を使いながら講義を行いました。

いわゆる被災者と言われる現地の人たちはみんな笑顔で、絶対にあきらめない、前向きな人たちだった。それは、人々のつながりの強さの証。皆さんも人のつながりを大切にしてほしいと伝えていました。



村内小中学校 運動会・体育祭

みんながんばったよ!!

5月29日に占冠中学校、6月4日にトナム小中学校、5日に占冠中央小学校、25日にトナムへき地保育所、26日に占冠へき地保育所で運動会・体育祭が行われました。

天気にも恵まれ、子どもたちは家族や地域の人の声援を受けて、これまで練習してきた成果を力いっぱい出していました。



きれいになりました。

5月31日、占冠村身体障害者福祉協会（伊賀聰会長）と地域の有志数名が、河川公園の清掃・美化活動を行いました。

花壇にはマリーゴールドなどが植えられ緑の公園に赤や黄色の色が添えられました。参加された皆さんは、会話を楽しみながら作業をしていました。

今年からパークゴルフができるようになり、散歩道も整備されていますので、ぜひご利用ください。公園はきれいに使いたしましょう。ゴミは必ず持ち帰りましょう。